

# みんなのひろば



▲外観や味、香りで茶の産地を当てる新春恒例『第42回狭山茶所沢研究会闘茶会』。着物の参加者が茶葉の色つやや手触りを確認した後、煎じて飲み比べ、茶の鑑定能力を競い合いました。  
1月9日(金)／市民文化センターミュージアム展示室  
(撮影：市民カメラマン・平出敏夫)



▲養蚕が盛んだった所沢の小正月の伝統行事「まゆ玉飾り」に挑戦した「作ろう！小正月にまゆ玉飾り」。上新粉で作っただんごのみかんをコナラとクワの木の枝に刺して飾り、一年の豊作を願いました。  
1月12日(祝)／狭山丘陵いきものふれあいの里センター  
(撮影：市民カメラマン・三平資郎)



▲市内11地区の会場で、地域の方がそれぞれの地区の新成人を祝った『第68回所沢市成人のつどい』。昨年より52人多い3,531人の新成人が決意も新たに大人への一歩を踏み出しました。  
1月12日(祝)／市民文化センターミュージアム中ホール  
(撮影：市民カメラマン・津田資雄)



▲元日の市内の神社仏閣は「初詣」でにぎわいました。ポタンの寺としても有名な多聞院では、大みそかには参道に灯明が灯り、年明けとともに参拝客が列をなし、新しい年の幸せを祈願しました。  
1月1日(祝)／多聞院  
(撮影：市民カメラマン・谷 亮)

## おうちで食べよう！所沢の学校給食

### 42 エコ豚肉のごぼう揚げオーロラソースがけ

栄養士さんが考えた学校給食のメニューの中から、所沢産の食材を取り入れたものや、特色あるレシピを紹介しします。

#### ◆今回の献立

- あずきごはん、牛乳
- エコ豚肉のごぼう揚げオーロラソースがけ★
- 小松菜の元気サラダ
- さんとめのあったかみそ汁
- ほうれん草のパバロア



#### ★エコ豚肉のごぼう揚げオーロラソースがけ

##### 材料（4人分）

- 豚ヒレ肉……………300g
  - しょうゆ……………小さじ2
  - 酒……………大さじ1と1/2
  - しょうが……………少々
  - 打ち粉（小麦粉）……………適量
  - 小麦粉……………大さじ6
  - ごぼう……………適量
  - 水……………適量
  - 揚げ油……………適量
- 【オーロラソース】
- ケチャップ……………大さじ4
  - 中濃ソース……………大さじ1
  - 三温糖……………大さじ1/2
  - 赤ワイン……………大さじ1
  - 生クリーム……………小さじ4

##### 作り方

- 豚ヒレ肉は1.5cm幅に切り、包丁の背で軽くたたき、しょうゆ・酒・すりおろしたしょうがにつけておく。
  - なべに①の材料を入れ火にかき、赤ワインのアルコール分をとばしてソースを作る。
  - ごぼうをすりおろし、小麦粉と水を加えて濃いめの衣をつくる。
  - ①の豚肉に打ち粉をして、③の衣をつけて揚げる。
  - お皿に盛り付け、②のソースをかけて出来上がり。
- ◎豚肉はビニール袋で漬け込むと簡単です。

#### ここがポイント 埼玉県の学校給食調理コンクール入賞！

今回のメニューは、平成26年度埼玉県の学校給食調理コンクールで入賞した清進小学校の献立です。市では給食で出た残菜を焼却せずに業者に委託して、エコフードとして家畜の飼料に再利用しています。それを食べて育った豚肉（エコ豚肉）を使用し、かつては「入間ごぼう」として親しまれていた「ごぼう」を衣にしてさっくり揚げ、子どもたちが食べやすいようにオーロラソースをかけました。

保健給食課 ☎2998-9249 ☎2998-9167

## はっちゃん 野老っ子



身長165cm、体重115kg、決して大きくはない体で、2年前に相撲界に飛び込んだ20歳の若者がいます。今回は、山口地区出身で兄も力士（羅王・立浪部屋）の爆羅騎（式秀部屋）をご紹介します。相撲を始めたのは小学3年生のとき。近所の公園でたまたま稽古を見たのがきっかけで、すっかり相撲のとりことなりました。「柔道も経験したけれど、決着がわかりやすいところが相撲の魅力の一つ。」と笑います。6年生のときに両国国技館で初めて本場所を観戦。そのときにサインをもらった北桜関（現在の式秀親方）と交流を続け、高校卒業後に式秀部屋に入門しました。式秀親方の指導方針は「ほめて育てること」。「親方は分かりやすく、勝つためのポイントを上手に教えてくれます。強さと優しさを兼ね備えた親方は憧れの力士。毎日の稽古が楽しくて仕方ありません。」と語る相撲大好きな爆羅騎ですが、力士になるための難点が一つ。それは身長が低いこと。なんとしてでも力士という夢をかなえるため、新弟子検査当日は髪を逆立て、小さい体を目いっぱい伸ばし、最後は「背伸び」という決まり手で見事に合格。「周りからは無理だと言われ続けましたが、ずっと諦めませんでした。強く願って、努力し続けたから夢がかなった。」と目を

最後の餅 和ヶ原 山ノ井 義治  
長い間寝たきりだった祖母は、私が小学生のころの正月に亡くなった。亡くなる数日前、お餅が食べたいと言ったので、白いお餅を小さく切り、きな粉をまぶしてあげたら、おいしそうに食べたので喜んで。日本人の大好きな食べ物だと思っ。毎年正月になると、祖母がおいしそうにお餅を食べた光景を思い出します。



## 小さいことを大きな武器に

大相撲力士・爆羅騎（山口出身）

輝かせます。初土俵から順調に番付を上げ、三段目で全勝し、幕下に昇進するも全敗。会場の雰囲気にもまれて自分の相撲が取れなかったことを反省しました。「勝ちたいという気持ちを強く持つことの大切さを思い知りました。自分の弱点は、繊細さが欠けること。土俵際の勝負で負けるのは詰めが甘いから。」と冷静に自己分析。緻密さと集中力をつけるためにジグソーパズルを始めました。土俵で汗を流す毎日ですが、場所後の休みに地元に戻ってくるのが何よりの気分転換です。「幼なじみに会って、たわいない話で盛り上がりたり、12月には部屋の仲間と地元町谷自治会の餅つき大会にも参加しています。みんなに『がんばれ！』と応援してもらえるのが力になっています。」と語る爆羅騎が目指しているのは、小さいことを武器にした相手が嫌がる相撲。「懐の中に入って押す相撲が得意です。小さくても努力し続ければ、どんどん強くなれます。もっと番付を上げて、関取になって地元の皆さんを喜ばせたい。」と、小兵力士は大きな夢に向かって今日も稽古に励みます。



▲取組前の爆羅騎

## 餅の思い出

戦後貧しい時代の正月近くの夜、母は、小学3年生の私に、玄関の鍵を掛けて、声を掛けながら開けるように言いながら出ていきました。母は、父が東村山の実家から、リヤカーにまきや粗糶を積んで帰るのを迎えた出たので。山と積まれた荷の下には、伯父夫婦が作った餅が忍ばせてありました。当時、今のダイエーの前のプロペラ通り入口の所にあった検問所を無事に通過し、なんとか家に着いたのですが、鍵番の私はうたた寝をしていました。ご近所に気兼ねしつつ声を忍ばせて呼ぶのですが、私は起きず、たいそう困ったそうです。伯父の餅は、昔がしなやかに炊くので、炊き続けておきたので、米粒が残ったものでした。家族6人、餅を食べて正月を祝うことができました。

### 三段重ねの鏡餅

東所沢和 岡田 伊都子  
所沢には「動物の餅運び」という昔話があり

## 地域絆 やっぱり自治会・町内会でしょ！

ご近所同士で力を合わせ、さまざまな課題解決や地域の絆づくりを行っている自治会・町内会をご紹介します。

### 花園2丁目町会

～ふれあいで育む花園2丁目らしさ～



▲高柳会長

花園2丁目町会は、新所沢駅の東口に面している新所沢東地区にあり、560世帯で活動しています。小学校や幼稚園などが近い土地柄、新しい住宅が建てられ、子育て世代が増えている地域です。このような地域性を踏まえ、スクールガードによる児童の見守り活動に力を入れています。月1回の参加でも大歓迎としたことで、忙しい子育て世代の方々にも無理なく継続参加してもらえるようになりました。また、見守り活動30分に加えて、ごみ拾いも兼ね近所を1時間程度散歩してもらうようお願いしています。男性にも積極的に参加してもらえるように声を掛け、現在70人の方が交代で活動しています。

さらに、町会では花園西公園の花壇を管理しています。季節の花が咲き誇り、住民の憩いの手になっているだけではなく、花の手入れや水やりを通してあいさつの輪が広がるきっかけにもなっています。その他、地元商店を応援したいとの思いからイベントの際には、地元商店から商品を仕入れたり、火災に備えて28カ所に「まちかど消火器」を設置したりするなど、活動に工夫を凝らしています。

高柳 進会長は、会長として5年目。地域の課題解決のために奔走していますが、「一人で抱え込まないで、みんなで助け合うことが大事です。毎月の定例会の資料を役員さんが作成してくれたり、花園西公園の花壇をご近所の方が日頃から気にかけて手入れしてくれたり、とても助かっています。知恵を出し合って、力を合わせて地域をよくしていきたいです。」と会員の皆さんへの感謝の気持ちを語ってくれました。

「町会に加入してほしいけれど、まずは行事に参加してもらっています。焦らず、町会の活動に納得し、共感してから加入してほしいです。」と語る高柳会長。今までの考えだけでなく、若い世代の住民が増えていくなかで、新たな仲間になる住民の受け入れ態勢もしっかりし、にぎわいと触れ合いを大切に、「花園2丁目らしさ」を盛り上げています。

町会に加入してほしいけれど、まずは行事に参加してもらっています。焦らず、町会の活動に納得し、共感してから加入してほしいです。」と語る高柳会長。今までの考えだけでなく、若い世代の住民が増えていくなかで、新たな仲間になる住民の受け入れ態勢もしっかりし、にぎわいと触れ合いを大切に、「花園2丁目らしさ」を盛り上げています。

町会コミュニティ推進課 ☎2998-9083 ☎2998-9491